

部品一覧表

組立を行う前に、次の部品が揃っているかお確かめ下さい。

部品名称	部品数	梱包数
ヘッドボード	1	
センターレッグ	1	
小ネジ (M8×40mm)	2	1
小ネジ (M8×60mm)	4	
小ネジ (M8×70mm)	8	
座金	8	
ステーションH	1	1
滑り止めシート	※	

部品名称	部品数	梱包数
ステーションF	1	1
レッグ	2	1
ワイドダブルサイズ以下	1	1
マットレス	クィーンサイズ (連結式含む)	1
		2
キングサイズ	2	2

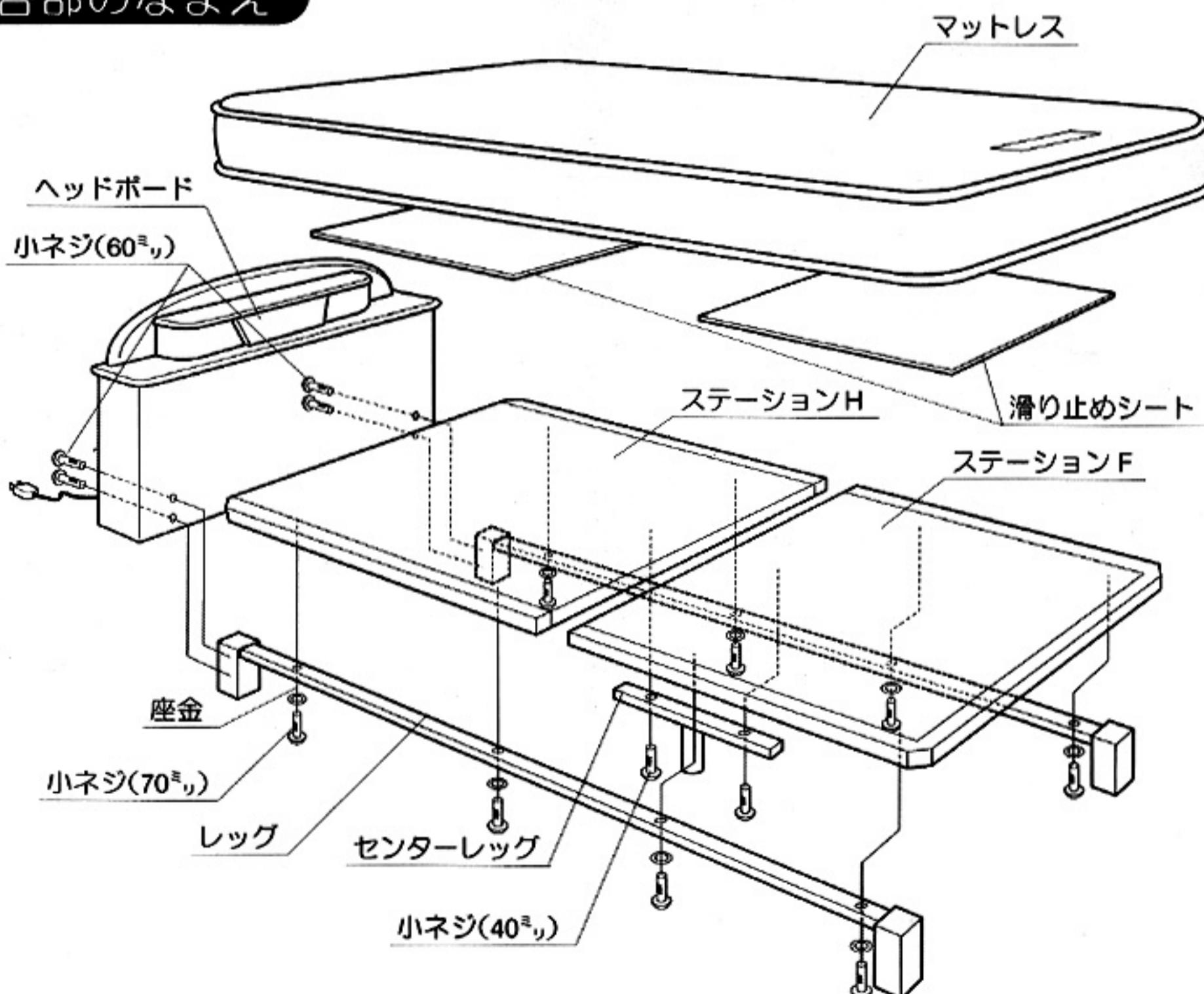
No.125118-1

※ 滑り止めシート

ワイドダブルサイズ以下は部品数 2、クィーンサイズ以上は部品数 4



各部のなまえ



型式によりデザイン形状、引き出しの数量は異なる場合があります。

組立方法

型式によりデザイン形状が異なりますが組立方法はおなじです。

組立を行う前に

ベッドを置く位置を決めます

- ・頭側の向きを確認して下さい。
- ・部屋の中でコンセントの位置及び、家具の引き出し、扉等の開閉に支障がないことを確認して下さい。
- ・ヘッドボードは、頭側に置いて下さい。
- ・ステーションHを頭側、ステーションFを脚側に置いて下さい。

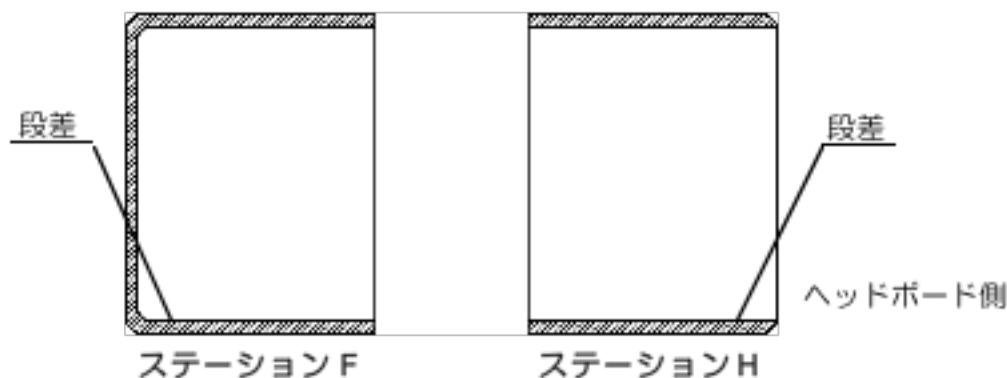
注意

- 2名以上で組立作業を行って下さい。
ケガをしたりベッドを破損する原因になります。
※ 組立には、プラスドライバーをご用意下さい。

組立順序

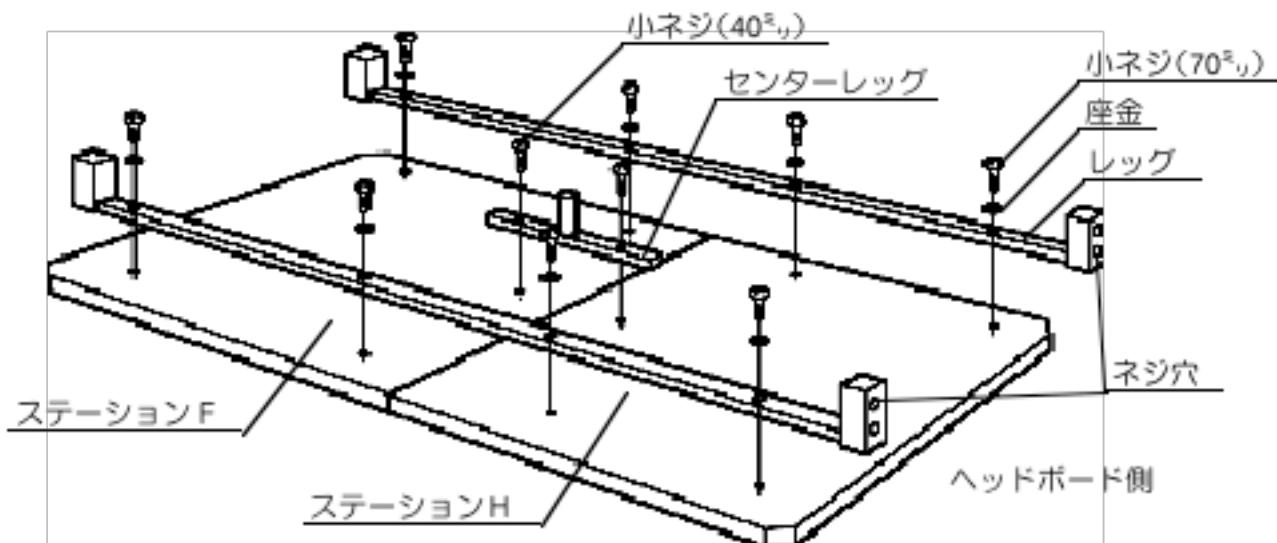
1 ステーションを確認します

- ・下図を参考にステーションの外周を見て、HとFを確認して下さい。
(3辺に段差のある方がステーションF、2辺に段差のある方がステーションHです。)



2 レッグを取り付けます

- ・ステーションを裏返して下さい。
- ・レッグは側面にネジ穴のある方をステーションH側にして下さい。
- ・レッグの貫通穴をステーションのネジ穴に合わせ、小ネジ(40[×]1.2)と座金にて仮止めして下さい。
- ・センターレッグの貫通穴をステーション中央のネジ穴に合わせ、小ネジ(40[×]1.2)にて仮止めして下さい。

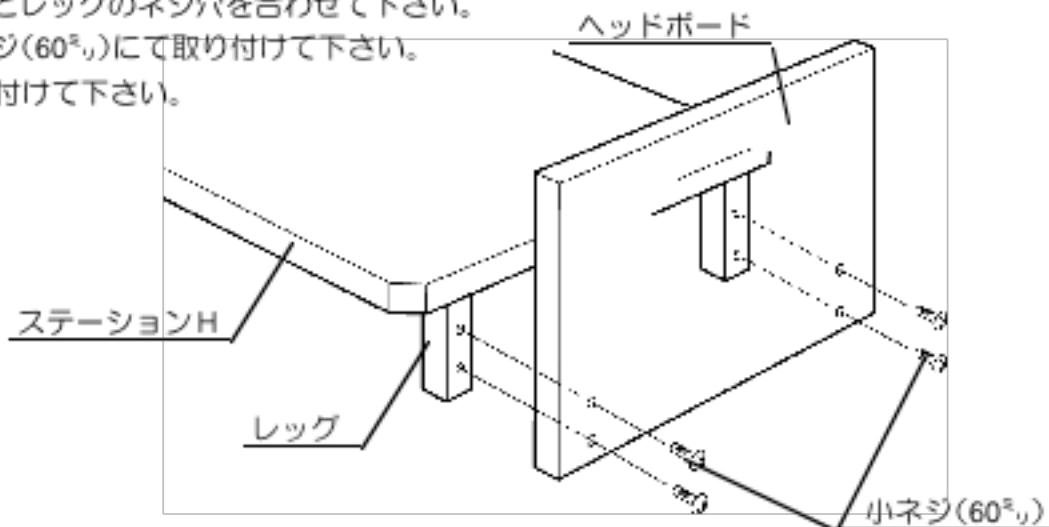


3 小ネジ(計10個)を締め付けて下さい

- ・2枚のステーションが、隙間無く確実についていることを確認してから小ネジ(計10個)を締め付けて下さい。

4 ヘッドボードを取り付けます

- ・ステーションを表向きに起こして下さい。
- ・ヘッドボードの取り付け穴とレッグのネジ穴を合わせて下さい。
- ・ヘッドボード裏面より小ネジ(60ヶ)にて取り付けて下さい。
- ・小ネジ(4個)を確実に締め付けて下さい。



5 滑り止めシートを敷きます

- ・ステーションの上に滑り止めシートを敷いて下さい。
- ・各ステーションの中央に1枚ずつ敷いて下さい。

6 マットレスを載せて下さい

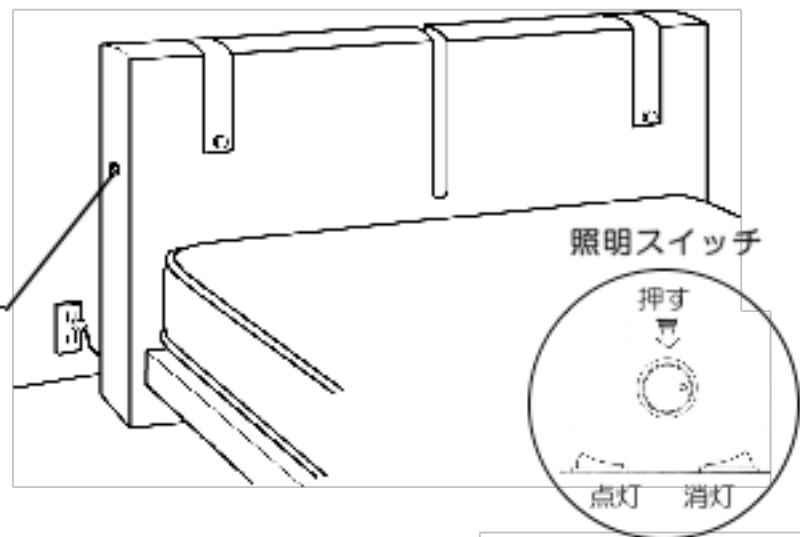
- ・以上でベッドの組立は終了です。

照明器具について

使用方法

ヘッドボード裏面から出ている電源プラグを、家庭用コンセント交流100Vに差し込んで下さい。電源コードが短い場合は延長コードをつないで下さい。

スイッチ

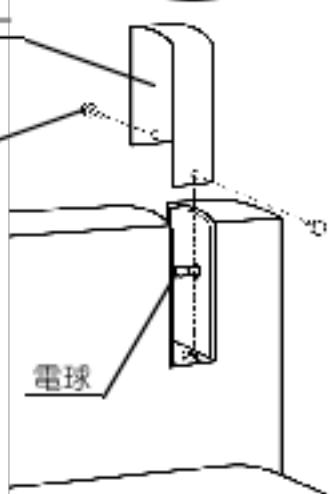


電球の交換方法

- ①電源コードを必ず抜いて下さい。
- ②ヘッドボード両サイドにある取付けネジを表側、裏側ともにはずします。
- ③アクリルカバーを上方にすらしてはすします。
- ④電球を回してはすし、必ず同一仕様のものと交換して下さい。
(100V 10W)
- ⑤アクリルカバーを取付ける時は、ミゾにあわせてから取付けネジを締め込んで下さい。

アクリルカバー

取付けネジ



注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜いて下さい。

感電・ショート・火災の原因になります。



この照明は、読書用の照明ではありません。本などは読まないで下さい。

視力低下の原因になります。



電源プラグや電源コードには、濡れた手で触らないで下さい。

感電する恐れがあります。



電球の交換は、必ず電源プラグを抜き電球が冷めてから行って下さい。必ず、規定容量の物と交換して下さい。

感電や火傷をすることがあります。又、容量の大きい物を使うと火災の恐れがあります。



電源プラグにピンやゴミを付着させないで下さい。ゴミ等が付着している場合は、電源プラグを抜き乾拭きして下さい。

感電・ショート・火災の原因になります。



ベッドを動かす場合や、長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。



照明にタオルや紙類などの燃えやすい物を掛けないで下さい。

引火して火災の恐れがあります。



長時間照明を点灯させた状態で放置しないでください。

照明部が高温となり火傷や火災の恐れがあります。

